

エコアクション21

環境経営レポート

対象期間 2023年4月1日～2024年3月31日



モリ環境衛生センター株式会社

発行日 2024年8月20日



目次

1 環境経営方針	1
2 組織の概要	2
. 1 事業者名	
. 2 代表者名	
. 3 法人設立年月日	
. 4 資本金	
. 5 売上高	
. 6 所在地	
. 7 環境保全関係の責任者	
. 8 事業内容	
. 9 従業員	
. 10 活動範囲	
. 11 対象事業所	
. 12 活動期間	
. 13 実施体制図	
. 14 事業概要(産業廃棄物収集運搬業)	3
. 15 事業概要(特別管理産業廃棄物収集運搬業、 産業廃棄物処分業、一般廃棄物収集運搬業)	5
3 受託した産業廃棄物の処理量	6
4 環境経営目標一覧表	7
5 環境経営計画	8
6 環境経営目標の実績	9
電力使用量の推移	10
水道使用量の推移	11
軽油・ガソリン使用量の推移	12
一般廃棄物収集運搬ルートの見直し(ICT活用例)	13
廃棄物回収作業者の能力向上に基づく環境目標達成プラン	14
二酸化炭素排出量削減施策 太陽光発電・カーボンオフセット電力	15
7 環境経営計画への取組結果とその評価、次年度の取組内容	16
8 環境関連法規等の遵守状況の確認と違反、訴訟等の有無	17
9 代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果	18



1 環境経営方針

当社は、事業活動において、環境に影響する業務があることを認識し、環境経営システムを構築し運用することにより、地球環境に優しい企業経営を自主的積極的に推進します。

1. エコアクション21に準拠した環境マネジメントシステムを構築し、環境関連法規制及び受け入れを決めたその他の環境関連要求事項を整理し遵守します。
2. 当社は、環境経営システムを運用するにあたり下記の活動に取り組み環境負荷の低減を図ります。
 - ① 省エネルギーに取り組み二酸化炭素排出削減に努めます。
 - ② 化学物質の適正管理、環境負荷の軽減に努めます。
 - ③ 廃棄物の排出量の削減に努めます。
 - ④ 受託した産業廃棄物の再資源化の促進に努めます。
 - ⑤ 節水に努め、水使用の削減に努めます。
 - ⑥ 地域社会への貢献に努めます。
 - ⑦ グリーン購入の推進を図ります。
 - ⑧ 環境に優しいサービスを提供します。
3. この環境経営方針を全社員に周知徹底し、環境意識を高め、環境目標を設定し継続的改善に努めます。

平成 25年 11 月 28 日

令和 2年 8 月 20 日 改定

モリ環境衛生センター株式会社

代表取締役

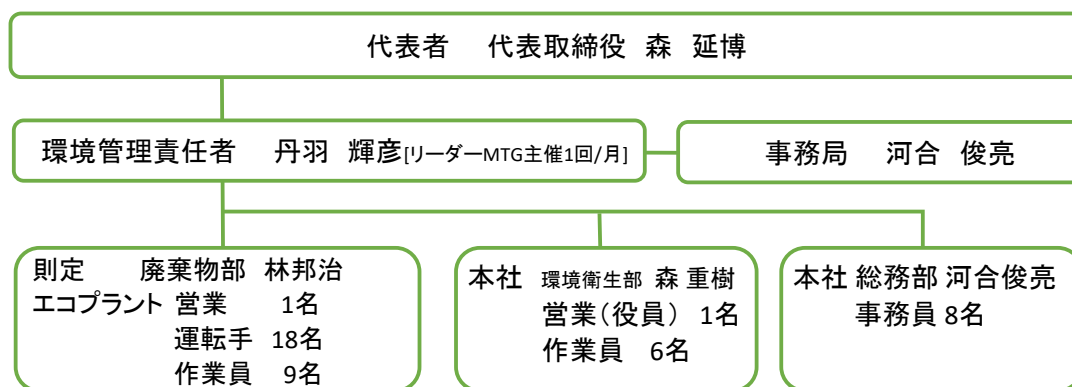
森 延博



モリ環境衛生センター株式会社

2 組織の概要

1. 事業者名 モリ環境衛生センター株式会社
2. 代表者名 代表取締役 森 延博
3. 法人設立年月日 昭和59年4月3日
4. 資本金 金 1,000万円
5. 売上高 第40期 736,430(単位:千円)
6. 所在地 本社 〒471-0033 愛知県豊田市月見町一丁目1番地5
 則定エコプラント 〒444-2432 愛知県豊田市則定町駒越17番地1
 (産業廃棄物中間処理工場)
7. 環境保全関係の責任者 環境管理責任者 丹羽 輝彦
 連絡先 TEL 0565-32-0356
 FAX 0565-32-0355
<https://morikan.jp>
 e-mail morikan@hm8.aitai.ne.jp
8. 事業内容 (1) 一般廃棄物・産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬業
 (2) 産業廃棄物の中間処分業
 (3) 有害生物の防除処理業務
 (4) 清掃、殺菌業務
9. 従業員 45人
10. 活動範囲 事業内容と同じ
11. 対象事業所 本社、則定エコプラント
12. 活動期間 2023年4月1日から2024年3月31日
13. 実施体制図



	役割	責任	権限
代表者	環境方針の作成、環境管理責任者の任命、資源(人員、設備、費用)の準備、全体の評価と見直し	・活動内容の監視 ・目標達成度総括	・目標値の設定 ・活動内容の改善
環境管理責任者	代表者に代わり、環境経営システムを構築し運用する。環境レポート承認、維持管理を行い、代表者に報告する。外部・内部からの苦情等の受付と対応及び結果の報告。	・環境経営システム構築 ・活動内容の監視 ・活動内容具体策策定	・目標値の提案 ・活動内容の提案 ・担当者への依頼
事務局	環境関連文書の記録、素案作成、管理等	・文書作成・管理	・記録方法の選択
各部門責任者	EA21取り組み実施、状況確認、記録、事務局へ提出	・取組への積極参加	・活動の改善提案

MORI



モリ環境衛生センター株式会社

14.事業概要(産業廃棄物収集運搬業)

豊田市より、平成26年1月28日付で産業廃棄物収集運搬業の優良産業廃棄物処理業者に認定されました
愛知県より、平成26年4月26日付で産業廃棄物収集運搬業の優良産業廃棄物処理業者に認定されました

許可の内容	産業廃棄物収集運搬業	
許可政令市	豊田市 ☆優良産業廃棄物処理業者認定取得	愛知県 ☆優良産業廃棄物処理業者認定取得
許可番号	第09010004990号	第02300004990号
許可年月日	令和3年1月28日	令和3年4月26日
有効年月日	令和10年1月27日	令和10年4月24日
保有車両	塵芥車 11台、清掃車 1台、脱着式コンテナ車 5台、キャブオーバー 1台、バン 7台、冷蔵冷凍車 2台 計27台	
事業の範囲	積替え保管を除く	積替え保管を除く
	燃え殻(水銀含有ばいじん等を除く。) 廃油 廃酸(水銀含有ばいじん等を除く。) 廃アルカリ(水銀含有ばいじん等を除く。) 廃プラスチック類(自動車等破砕物を除く。石綿含有産業廃棄物を含む。) 動植物性残さ 動物系固形不要物 ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず(自動車等破砕物を除く。石綿含有産業廃棄物を含む。) 鋳さい(水銀含有ばいじん等を除く。) がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む。) ダスト類(水銀含有ばいじん等を除く。) 以上11品目(水銀使用製品産業廃棄物を含む。)	燃え殻(水銀含有ばいじん等を除く。) 汚泥(水銀含有ばいじん等を除く。) 廃油 廃酸(水銀含有ばいじん等を除く。) 廃プラスチック類(自動車等破砕物を除く。石綿含有産業廃棄物を含む。) 廃アルカリ(水銀含有ばいじん等を除く。) 紙くず ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず(自動車等破砕物を除く。石綿含有産業廃棄物を含む。) 木くず 繊維くず 動植物性残さ 動物系固形不要物 ゴムくず 金属くず(自動車破砕物を除く。) 鋳さい(水銀含有ばいじん等を除く。) がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む。) ダスト類(水銀含有ばいじん等を除く。) 以上 17品目(水銀使用製品産業廃棄物を含む。)
	積替え保管を含む	積替え保管
	汚泥(水銀含有ばいじん等を除く。) 廃プラスチック類(自動車等破砕物を除く。石綿含有産業廃棄物を除く。) 紙くず 木くず 繊維くず ゴムくず 金属くず(自動車破砕物を除く。) ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず(自動車等破砕物および石綿含有産業廃棄物を除く。) 以上8品目(水銀使用製品産業廃棄物を含む。)	該当なし
	積替え保管施設	積替え保管施設
	(1) 所在地 豊田市則定町駒越17番地1 (2) 面積2,479.07㎡(保管面積)66.4㎡ (3) 産業廃棄物の種類 (4) 保管上限 98.85㎡ (5) 高さ 該当なし	該当なし



14.事業概要(産業廃棄物収集運搬業)

許可の内容		産業廃棄物収集運搬業	
許可政令市	三重県	兵庫県	
許可番号	第02400004990号	第02805004990号	
許可年月日	令和4年3月31日	令和4年12月28日	
有効年月日	令和9年3月30日	令和9年12月27日	
保有車両	塵芥車 11台、清掃車 1台、脱着式コンテナ車 5台、キャブオーバー 1台、バン 6台、冷蔵冷凍車 2台 計26台		
事業の範囲	積替え保管を除く	積替え保管を除く	
	燃え殻(水銀含有ばいじん等を除く。) 汚泥(水銀含有ばいじん等を除く。) 廃油 廃酸(水銀含有ばいじん等を除く。) 廃プラスチック類(自動車等破砕物を除く。石綿含有産業廃棄物を含む。) 廃アルカリ(水銀含有ばいじん等を除く。) 紙くず ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず(自動車等破砕物を除く。石綿含有産業廃棄物を含む。) 木くず 繊維くず 動植物性残さ ゴムくず 金属くず(自動車破砕物を除く。) 鋳さい(水銀含有ばいじん等を除く。) がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む。) ダスト類(水銀含有ばいじん等を除く。) 以上 16品目 (水銀使用製品産業廃棄物を含む。)	燃え殻(水銀含有ばいじん等を除く。) 汚泥(水銀含有ばいじん等を除く。) 廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を含む。) 紙くず 木くず 繊維くず 金属くず(自動車破砕物を除く。) ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず(自動車等破砕物を除く。石綿含有産業廃棄物を含む。) 鋳さい(水銀含有ばいじん等を除く。) がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む。) ばいじん 以上 11品目 (水銀使用製品産業廃棄物を含む。)	
	積替え保管	積替え保管	
	該当なし	該当なし	
	積替え保管施設	積替え保管施設	
	該当なし	該当なし	



15.事業概要(特別管理産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物処分量、一般廃棄物収集運搬業)

豊田市より、平成26年1月28日付で特別管理産業廃棄物収集運搬業の優良産業廃棄物処理業者に認定されました。
愛知県より、平成20年8月24日付で特別管理産業廃棄物収集運搬業の優良産業廃棄物処理業者に認定されました。
豊田市より、平成26年1月28日付で産業廃棄物処分量の優良産業廃棄物処理業者に認定されました。

許可の内容		特別管理産業廃棄物収集運搬業	
許可政令市	豊田市 ☆優良産業廃棄物処理業者認定取得	愛知県 ☆優良産業廃棄物処理業者認定取得	
許可番号	第09060004990号	第0235004990号	
許可年月日	令和3年1月28日	令和2年8月24日	
有効年月日	令和10年1月27日	令和9年8月23日	
事業計画の概要	車両6台 感染性廃棄物用 プラスチック容器密閉型 20L、45L、100個 腐食性廃酸用 ケミカルドラム 100L 5個 引火性廃油用 一斗缶 5個		
事業の範囲	積替え保管を含む	積替え保管を除く	
	感染性廃棄物 引火性廃油 以上2品目	感染性廃棄物 引火性廃油 腐食性廃酸 以上3品目	
	積替保管を含む		
	腐食性廃酸 以上1品目		
	(1)所在地 豊田市則定町駒越17番地1		
	(2)面積1.21㎡ 保管上限1.8m³ 保管高さ 該当なし		
許可の内容		産業廃棄物処分量	
許可政令市	豊田市 ☆優良産業廃棄物処理業者認定取得		
許可番号	第09020004990号		
許可年月日	令和3年1月28日		
有効年月日	令和10年1月27日		
事業計画の概要	事業区分 中間処分(選別・破碎・圧縮・溶融)		
事業の範囲	ア 圧縮		
	廃プラスチック類(自動車等破碎物及び石綿含有産業廃棄物を除く。)、紙くず、金属くず(自動車等破碎物を除く。) 以上 3品目(水銀使用製品産業廃棄物を除く。)		
	イ 選別		
	廃プラスチック類(自動車等破碎物及び石綿含有産業廃棄物を除く。)、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず(自動車等破碎物を除く。)、ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)&及び陶磁器くず(自動車等破碎物及び石綿含有産業廃棄物を除く。)		
	以上 7品目(水銀使用製品産業廃棄物を除く。)		
	ウ 破碎 廃プラスチック類(自動車等破碎物及び石綿含有産業廃棄物を除く。)		
	以上 1品目(水銀使用製品産業廃棄物を除く。)		
	エ 溶融 廃プラスチック類(自動車等破碎物及び石綿含有産業廃棄物を除く。)		
	以上 1品目(水銀使用製品産業廃棄物を除く。)		
処理工程図	廃プラスチック類 ⇒ 破碎後 ⇒ 売却		
	溶融後 ⇒ 売却		
	圧縮後 ⇒ 売却		
	選別後 ⇒ 固形燃料(委託)、焼却(委託)		
	金属くず ⇒ 選別後、圧縮 ⇒ 売却		
	ガラスくず ⇒ 選別後 ⇒ 焼却(委託)		
	紙くず ⇒ 選別後、圧縮 ⇒ 固形燃料(委託)、売却		
	木くず ⇒ 選別後 ⇒ 焼却(委託)、破碎(委託)		
	繊維くず ⇒ 選別後 ⇒ 焼却(委託)		
	ゴムくず ⇒ 選別後 ⇒ 焼却(委託)		
処理の方式および能力	選別 磁選機コンベアーを用いた選別 (192m³/日)		
	破碎 破碎機を使用 (7.28t/日)		
	圧縮 圧縮機を使用 (廃プラ:0.608t/日、紙くず:0.8208t/日、金属くず:1.9184t/日)		
	溶融 電気溶融機使用 (186.4kg/日)		
許可の内容		一般廃棄物収集運搬業	
許可政令市	許可番号	許可年月日	有効期限
豊田市	第1030号	令和5年7月4日	令和7年7月3日
みよし市	3み令環第 1457号	令和6年4月1日	令和7年3月31日
岡崎市	第 10222号	令和5年5月31日	令和7年5月30日



② 受託した産業廃棄物の処理量

2023年4月から2024年3月まで

処理方法等		廃棄物等種類	処分方法等	運搬量	中間処理量	
(i -1) 産業廃棄物 収集運搬		廃プラスチック類		1698.3t	1082.0t	
		紙くず		0.7t	0.0t	
		木くず		216.4t	126.8t	
		繊維くず		0.0t	0.0t	
		ゴムくず		0.0t	0.0t	
		金属くず		293.8t	292.7t	
		ガラス陶磁器くず		255.1t	123.2t	
		混合物		2707.8t	2717.3t	
		非感染性廃棄物		307.8t	0.0t	
		動植物性残さ		42.2t	0.0t	
		汚泥		237.1t	0.0t	
		燃え殻		0.0t	0.0t	
		廃油		0.7t	0.0t	
		廃アルカリ		1.8t	0.0t	
	(i -2) 特別管理 産業廃棄物収集運搬	感染性廃棄物			1081.0t	0.0t
		引火性廃油			0.9t	0.0t
廃酸		0.7t				
産業廃棄物収集運搬量(受入量)合計				6,844.3t	4,342.0t	
(ii) 中間処理		廃プラスチック類	破砕・圧縮・選別・溶融		1,082.0t	
		木くず	選別		126.8t	
		金属くず	圧縮・選別		292.7t	
		ガラス陶磁器くず	選別		123.2t	
		混合物	選別		2,717.3t	
	うち 再資源化等	廃プラスチック類	破砕・圧縮・選別・溶融		263.9t	
		木くず	選別		122.4t	
		金属くず	圧縮・選別		217.6t	
		ガラス陶磁器くず	選別		56.4	
		再資源化等量小計			660.3t	
中間処理合計					4,342.0t	
(iii) 最終処分						
最終処分量合計					0.0t	
(iv) 中 間処理後 の産業廃 棄物	最終処分	廃プラスチック類	焼却、破砕（委託）		13.2t	
		ガラス陶磁器くず	管理型埋立（委託）		74.1t	
		混合物	管理型埋立（委託）		269.3t	
		混合物	破砕（委託）		115.9t	
	再資源化等	廃プラスチック類	原材料として売却		263.9t	
		木くず	選別		122.4t	
		金属くず	原材料として売却		217.6t	
		ガラス陶磁器くず	原材料として売却		56.4t	
再資源化等量小計			660.3t			
中間処理後処分量合計					1,132.8t	

(i) 収集運搬		一般廃棄物	このうち314tを 肥料リサイクル用に収集運搬※1	4,950.5t
----------	--	-------	------------------------------	----------

※1 通常の焼却処分ではなく、専用施設に搬入して肥料としてリサイクルしている数量

4 環境経営目標一覧表

：重点活動※1

令和5年7月20日

作成：事務局

活動期間 2023年4月1日～2024年3月31日
(基準期間 2022年4月1日～2023年3月31日)

環境方針	環境目標	目標単位		基準年度	今回目標	次回目標	次々回目標
省エネルギーに取り組み 二酸化炭素排出削減に 努めます。	本社 電力使用量の削減	削減率	%	継続活動※1	←	←	←
		総量	kwh	32,039	32,039	32,039	32,039
	則定エコプラント 電力使用量の削減※2 【重点活動対象】	削減率	%		1%	2%	3%
		総量	kwh	55,789	55,231	54,673	54,115
		環境効率指標 ※0	kwh/t	15.65	15.49	15.34	15.18
	軽油使用量の削減※3 【重点活動対象】	削減率	%		1%	2%	3%
		総量	リットル	129,451	128,156	126,862	125,567
		環境効率指標	リットル/t	11.7	11.6	11.4	11.3
	ガソリン使用量の削減※4	削減率	%	継続活動	←	←	←
		総量	リットル	7,478	7,478	7,478	7,478
		環境効率指標	リットル/件	4.8	4.8	4.8	4.8
	二酸化炭素排出総量削減※5 【重点活動対象】	削減率	%		1%	2%	3%
		総量	kg-CO2	380,278	376,475	372,672	368,870
		環境効率指標	kg-CO2/百万円	546	541	535	530
化学物質の適正管理、 環境負荷の低減に 努めます。	化学物質使用量の削減※6	削減率	%	継続活動	←	←	←
		総量	kg	72.35	72.35	72.35	72.35
		環境効率指標	kg/件	0.041	0.041	0.041	0.041
受託した廃棄物の 再資源化の促進に 努めます。	再資源化率の向上※7	増加率	%	継続活動	←	←	←
		総量	t	568.6	568.6	568.6	568.6
		環境効率指標	%	16.0%	16.0%	16.0%	16.0%
節水に努め、水使用の 削減に努めます。	上水使用量の削減※8	削減率	%	継続活動	←	←	←
		総量	m3	1,289	1,289	1,289	1,289
		環境効率指標	m3/台	40.3	40.3	40.3	40.3
地域社会への貢献に 努めます。	菜の花プロジェクト参加※9	総量	回数	2	2	2	2
	工場周辺美化	総量	回数	2	2	2	2
グリーン購入の推進を 図ります。	グリーン購入品の 優先購入	総量	購入金額	389,159	100,000以上	100,000以上	100,000以上
環境に優しいサービスを 提供します。	IPM(※10)施工100%実施 【重点活動対象】	増加率	%	継続活動	←	←	←
		総量	件	1,569	1,569	1,569	1,569
		環境効率指標	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※0 環境効率指標：経済価値を反映しながら環境への取組の効率性を評価する手法。単位量当たりに必要なエネルギー（又は排出量）で評価

※1 本来業務の改善を重点活動として絞り込み、大きな効果を狙うこととした。従来の活動を維持する活動は、継続活動として差別化した。

※2 環境効率指標には、令和4年度の産業廃棄物の受入量3,564.7tを使用した

※3 ディーゼル車は主に一廃・産廃の収集運搬に使用しているため、令和4年度一般・産業廃棄物の収集運搬量11,091.3tを指標に使用した

※4 ガソリン車は主に有害生物防除、消毒殺菌に使用しているため、施行件数1,569件を指標に使用した

※5 売上100万円あたりの二酸化炭素排出量を指標に使用した（令和4年度売上696百万）

二酸化炭素排出総量把握のため、灯油による二酸化炭素排出量を含む

※6 有害生物防除、殺菌消毒施行件数1,569件を指標に使用した

※7 令和4年度の産業廃棄物の受入量(3,564.7t)に対する売却した再資源化量(568.6t)を指標として使用した

※8 主に洗車に使用するため、令和4年度保有車両台数(32台)を指標に使用した

※9 資源循環サイクルづくりを、それぞれの地域で目指す事を目的とした全国的な活動。

※10 Integrated Pest Management（総合的有害生物管理）。適切な生息実態調査に基づき、標準的な目標水準を設定し、事前に薬剤の種類や薬量、処理区域、トラップの併用等について十分検討を行い、施工する手法。結果として薬剤の過剰な使用を抑制できる。
また、薬剤の使用より高価であるが、有効な物理的防除策(トラップ等)を顧客予算の範囲で提案し、薬剤使用を低減する。

※11 中部電力の平成22年度の排出係数0.473(kg-CO2/kWh)を使用



モリ環境衛生センター株式会社

5 環境経営計画

重点活動

令和5年3月28日

作成：事務局

環境目標	取組場所	具体的な取組み	確認方法	責任者	実施時期
電力使用量の削減	本社	使用時以外の場所は消灯の徹底	点検表・啓発	環境管理責任者	活動期間中継続
		不要な電化製品のスイッチオフ徹底	点検表・啓発	環境管理責任者	活動期間中継続
		掲示による節電啓発推進	-	環境管理責任者	活動期間中継続
	則定エコプラント	LED化推進	-	代表取締役	工場照明の変更
		太陽光発電施設の運用・発電量確認(環境意識啓発)	発電記録表	総務責任者	平成26年1月設置
		外出時のエアコンスイッチオフ徹底	点検表	廃棄物部 部長	活動期間中継続
		使用時以外の場所は消灯の徹底	点検表・啓発	廃棄物部 部長	活動期間中継続
		掲示による節電啓発推進	-	廃棄物部 部長	活動期間中継続
軽油使用量の削減	則定エコプラント	収集ルートの見直し→走行距離の短縮	ICT活用※1	総務責任者	平成25年12月開始(13ページ参照)
		回収忘れ防止、作業補助機器の運用	-	環境管理責任者	タブレット導入
		廃棄物回収作業者の能力向上	-	環境管理責任者	ベア交代制度導入(14ページ参照)
		タイヤ空気圧の定期点検	-	廃棄物部 部長	活動期間中継続
		エコドライブの推進	-	廃棄物部 部長	活動期間中継続
ガソリン使用量の削減	本社	タイヤ空気圧の定期点検	-	総務責任者	活動期間中継続
		アイドリングストップ励行	-	総務責任者	活動期間中継続
		エコドライブの推進	-	総務責任者	活動期間中継続
二酸化炭素排出総量削減(その他の活動)	本社	ペーパーレス化推進 ※4	ICT活用※1	総務責任者	平成25年9月より開始
	則定エコプラント	手袋ボックスの設置 ※4	-	廃棄物部 部長	活動期間中継続
化学物質使用量の削減	本社	化学薬品点検表による在庫・仕入の一元管理	点検表	PC部門(※3)責任者	平成25年9月より開始
		IPM(※2)施工法の勉強会実施	-	PC部門(※3)責任者	令和5年5、8、11月 令和6年2月実施予定
再資源化率の向上	則定エコプラント	再資源化可能な産業廃棄物の受入強化策検討	-	環境管理責任者	平成26年3月より開始
		分別作業の精細実施	-	環境管理責任者	活動期間中継続
		再資源化率の適切な把握	マニフェスト	環境管理責任者	活動期間中継続
上水使用量の削減	則定エコプラント	洗車手順効率化による水使用量の低減	-	廃棄物部 部長	活動期間中継続
		蛇口周辺からの漏水確認	点検表	廃棄物部 部長	活動期間中継続
	本社	蛇口周辺からの漏水確認	点検表	総務責任者	活動期間中継続
菜の花プロジェクト参加	本社	ボランティアへの参加	-	代表取締役	種まき参加
工場周辺美化	則定エコプラント	工場周辺の草刈り実施	-	代表取締役	令和4年6月、11月
グリーン購入品の優先購入	本社	工具、材料、文具のグリーン調達を行う	点検表	総務責任者	活動期間中継続
IPM(※2)施工の実施	本社	IPM(※2)施工法の勉強会実施	-	PC部門(※3)責任者	令和5年5、8、11月 令和6年2月実施予定

※1 Information and Communication Technology 情報通信技術

※2 Integrated Pest Management(総合的有害生物管理)。適切な生息実態調査に基づき、標準的な目標水準を設定し、

事前に薬剤の種類や薬量、処理区域、トラップの併用等について十分検討を行い、施工する手法。結果として薬剤の過剰な使用を抑制できる。

※3 PEST CONTROL部門の略 有害生物防除担当

※4 これらの活動は、自社の二酸化炭素排出量削減に直接的に関連する活動とはならないが、社会全体に対する貢献を図ると共に、社員のエコ意識向上のために活動計画に織り込んでいる。



モリ環境衛生センター株式会社

6 環境経営目標の実績

重点活動※1

評価 ○:目標達成 ×:目標未達

活動期間 2023年4月1日～2024年3月31日				令和4年度	令和5年度		評価
環境方針	環境目標	目標単位		基準年度	今回目標	実績	
省エネルギーに取り組み二酸化炭素排出削減に努めます。	本社 電力使用量の削減	削減率	%		継続活動※1	-11.2%	×
		総量	kwh	32,039	32,039	35,615	×
	則定エコプラント 電力使用量の削減※2 (10ページ参照)	削減率	%		1%	5.8%	○
		総量	kwh	55,789	55,231	52,548	○
		環境効率指標 ※	kwh/トン	15.65	15.49	12.10	○
	軽油使用量の削減※3 (12ページ参照)	削減率	%		1%	-7.0%	×
		総量	リットル	129,451	128,156	138,521	×
		環境効率指標	リットル/トン	11.7	11.6	11.7	×
	ガソリン使用量の削減※4 (12ページ参照)	削減率	%	継続活動	←	-5.7%	×
		総量	リットル	7,478	7,478	7,906	×
		環境効率指標	リットル/件	4.8	4.8	5.6	×
	二酸化炭素排出総量削減※5	削減率	%		1%	-10.5%	×
		総量	kg-CO2	380,278	376,475	420,286	×
		環境効率指標	kg-CO2/百万円	546	541	570	×
化学物質の適正管理、 環境負荷の低減に 努めます。	化学物質使用量の削減※4	削減率	%	継続活動	←	7.3%	○
		総量	kg	72.35	72.35	67.07	○
		環境効率指標	kg/件	0.041	0.041	0.043	×
受託した廃棄物の 再資源化の促進に 努めます。	再資源化率の向上※6	増加率	%	継続活動	←	16.1%	○
		総量	t	568.6	568.6	660.3	○
		環境効率指標	%	16.0%	16.0%	15.2%	○
節水に努め、水使用の 削減に努めます。	上水使用量の削減※7 (11ページ参照)	削減率	%	継続活動	←	-5.0%	×
		総量	m3	1,289	1,289	1,354	×
		環境効率指標	m3/台	40.3	40.3	42.3	×
地域社会への貢献に 努めます。	菜の花プロジェクト参加	総量	回数	2	2	2	○
	工場周辺美化	総量	回数	2	2	2	○
グリーン購入の推進を 図ります。	グリーン購入品の 優先購入	総量	購入金額	389,159	100,000以上	364,919	○
環境に優しいサービスを 提供します。	IPM(※8)施工100%実施(※4)	増加率	%	継続活動	←	←	○
		総量	件	1,569	1,569	1,405	○
		環境効率指標	%	100.0%	100.0%	100.0%	○

※ 環境効率指標:経済価値を反映しながら環境への取組の効率性を評価する手法

※1 本来業務の改善を重点活動として絞り込み、大きな効果を狙うこととした。従来の活動を維持する活動は、継続活動として差別化した。

※2 環境効率指標には、産業廃棄物の受入量(令和4年度:3,564.7t、令和5年度:4,342.0t)を使用した

※3 一般・産業廃棄物の収集運搬量(令和4年度:11,091.3t、令和5年度:11,794.8t)を指標に使用した

※4 有害生物防除施工件数(令和4年度:1,569件、令和5年度:1,405件)を指標に使用した

※5 売上100万円あたりの二酸化炭素排出量を指標に使用した(令和4年度696百万円、令和5年度737百万円)

購入電力排出係数は、平成22年度の電気事業者別二酸化炭素排出係数を使用 : 中部電力 0.473(kg-CO2/kWh)

二酸化炭素排出総量把握のため、灯油による二酸化炭素排出量を含む

※6 産業廃棄物の再資源化量を指標として使用した(令和4年度:中間処理3,654.7t、再資源化568.6t 令和5年度:中間処理4,342.0t、再資源化660.3t)

※7 主に洗車に使用するため、保有車両台数(令和2年度:32台、令和3年度:32台)を指標に使用した

※8 Integrated Pest Management (総合的有害生物管理)。適切な生息実態調査に基づき、標準的な目標水準を設定し、

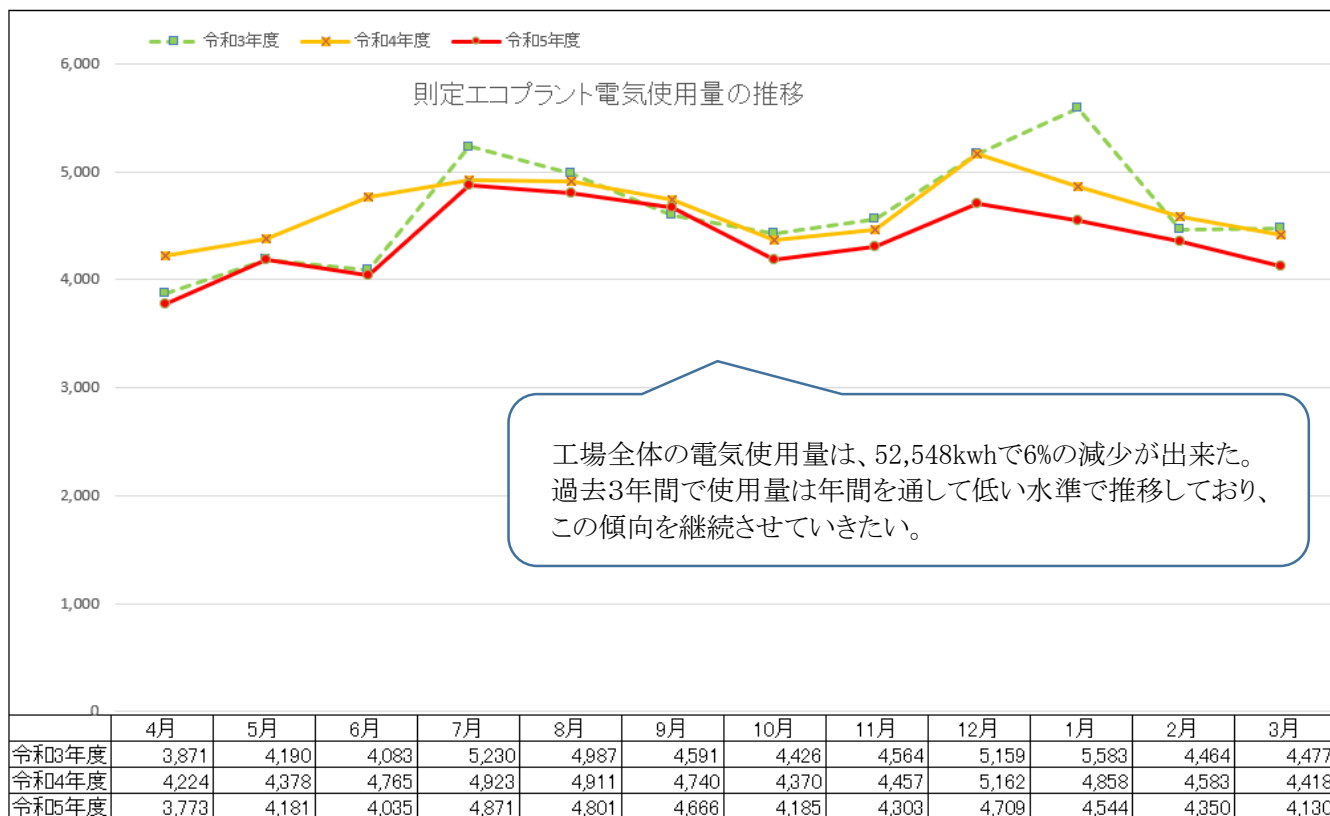
事前に薬剤の種類や薬量、処理区域、トラップの併用等について十分検討を行い、施工する手法。結果として薬剤の過剰な使用を抑制できる。

また、薬剤の使用より高価であるが、有効な物理的防除策(トラップ等)を顧客予算の範囲で提案し、薬剤使用を低減する。

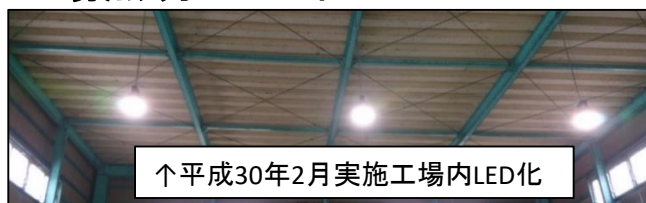


モリ環境衛生センター株式会社

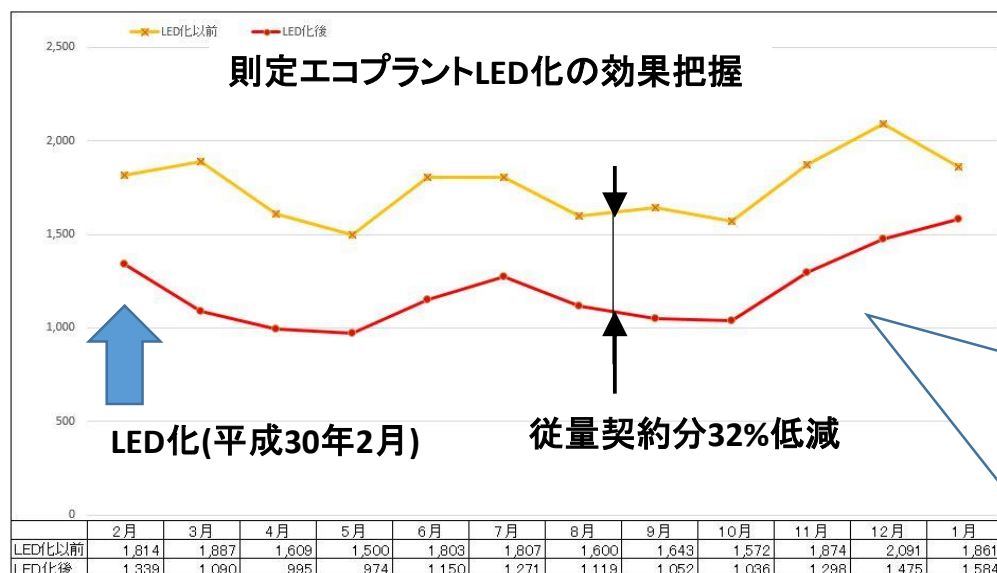
電力使用量の推移



工場照明のLED化



エコアクション審査時のご指摘事項の対策
底部分の常備灯にスイッチを新設。中間はスイッチオフできるようにした

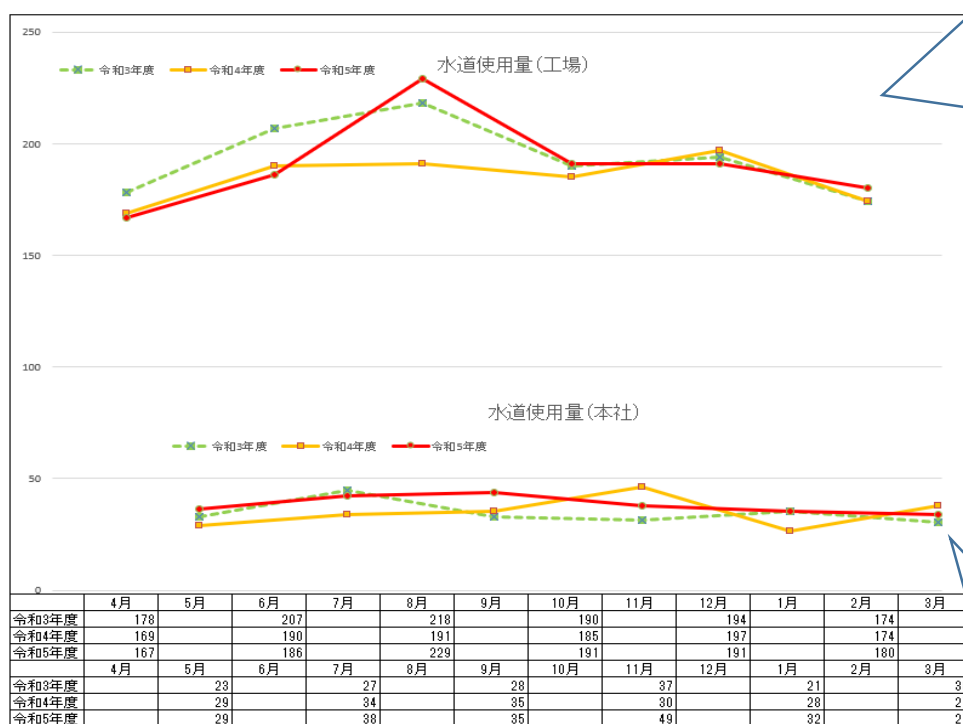


則定エコプラント
LED化効果の把握
昨年度(平成30年2月)実施した工場LED化の効果で、従量電灯契約の使用量が年間平均で32%低減できており、大きな節電効果が確認できた。

(現在は高圧電力に移行したためLED化のみの効果把握が出来ないため、低圧・従量契約に分かれていた平成30年の実績を表示している。)



水道使用量の推移



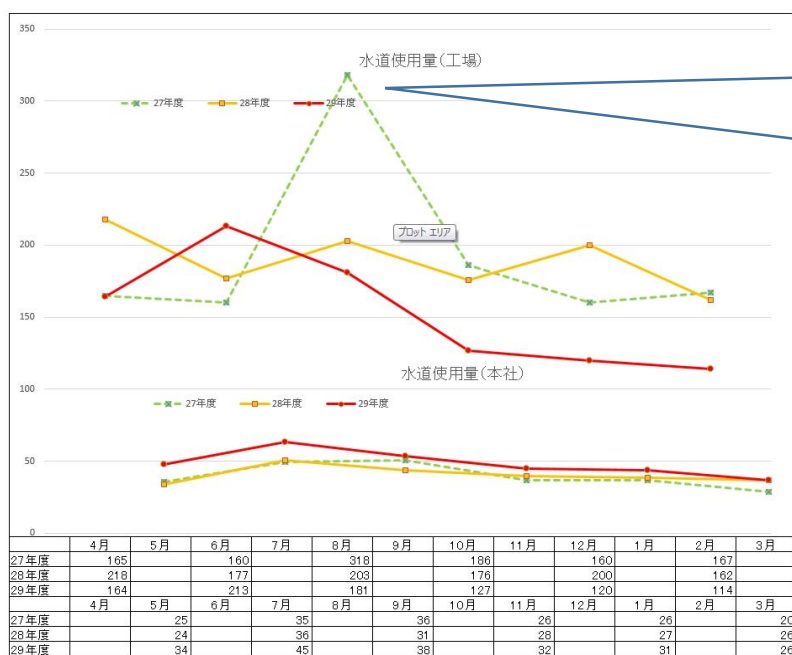
則定エコプラント 水道使用量

令和5年度は4年度に比べ、使用量は年間で3%増加した。①塵芥車の内部清掃の徹底、②工場内の清掃の徹底などが原因と考えられる。節水の意識づけなどを引き続き実施し、使用量の削減をしていく。

本社水道使用量

使用量は月単位でのバラツキはあるものの年間平均でほぼ横ばいで推移。新社屋を増築に伴い10%程度使用量が増加しているが、庭の拡大、人員増が要因で問題ない。

※参考:27年8月の漏水による使用量の大幅増



平成27年8月に工場で発生した漏水による使用量の大幅増加を示している。

この教訓を踏まえて、水道使用前、使用後の漏水確認の徹底を実施している。



モリ環境衛生センター株式会社

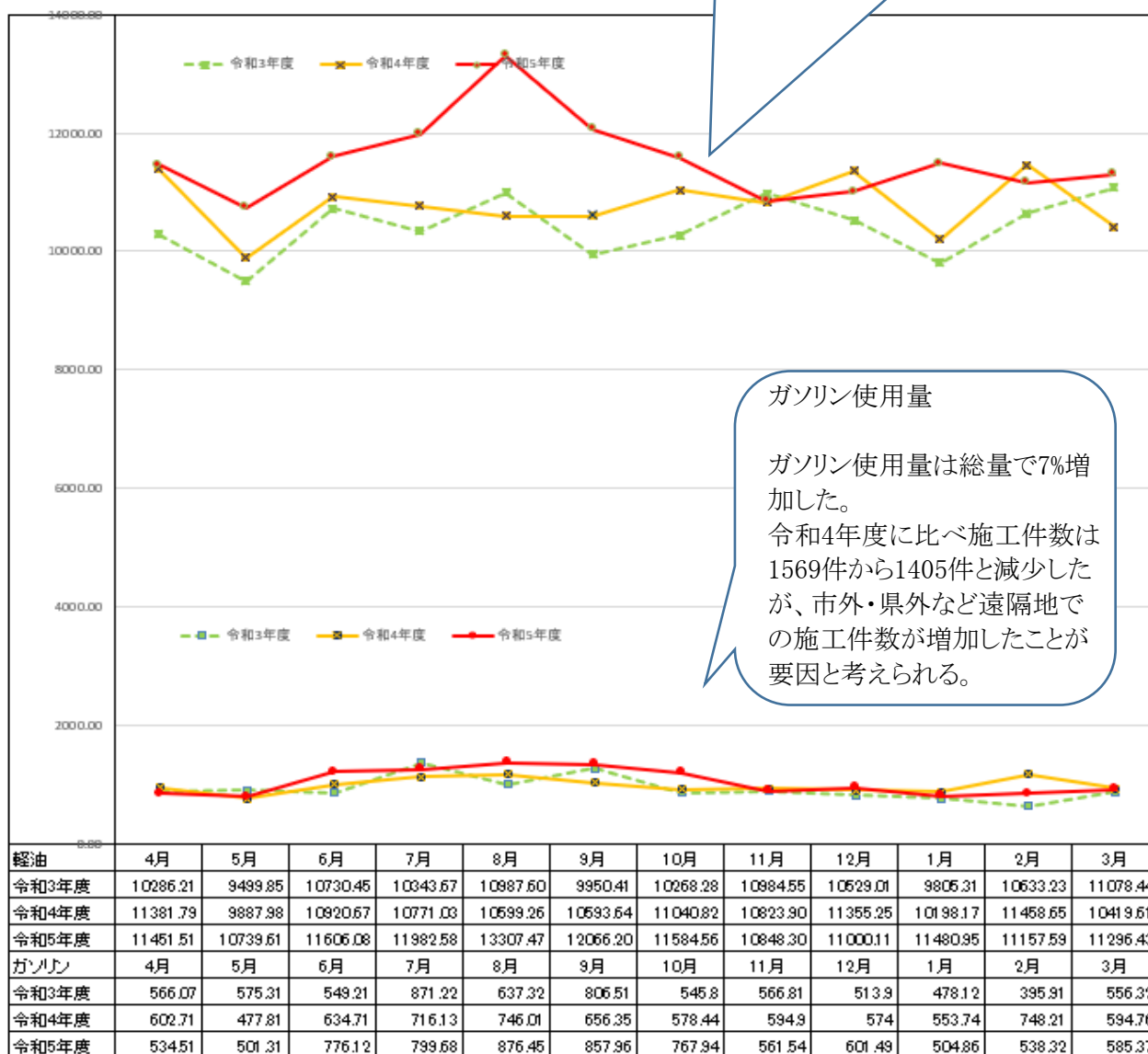
軽油・ガソリン使用量の推移

軽油使用量

一般・産業廃棄物収集運搬量は11,091.3tから11,794.8tに約6%増加した。
これに対し軽油使用実績は129,451Lから138,521Lと約6%の増加となった。

年間の収集運搬量が増加傾向にあるため、軽油の使用量も総じて増加することが考えられる。そのためより効率的に走行できるルート形成が課題として出ている。

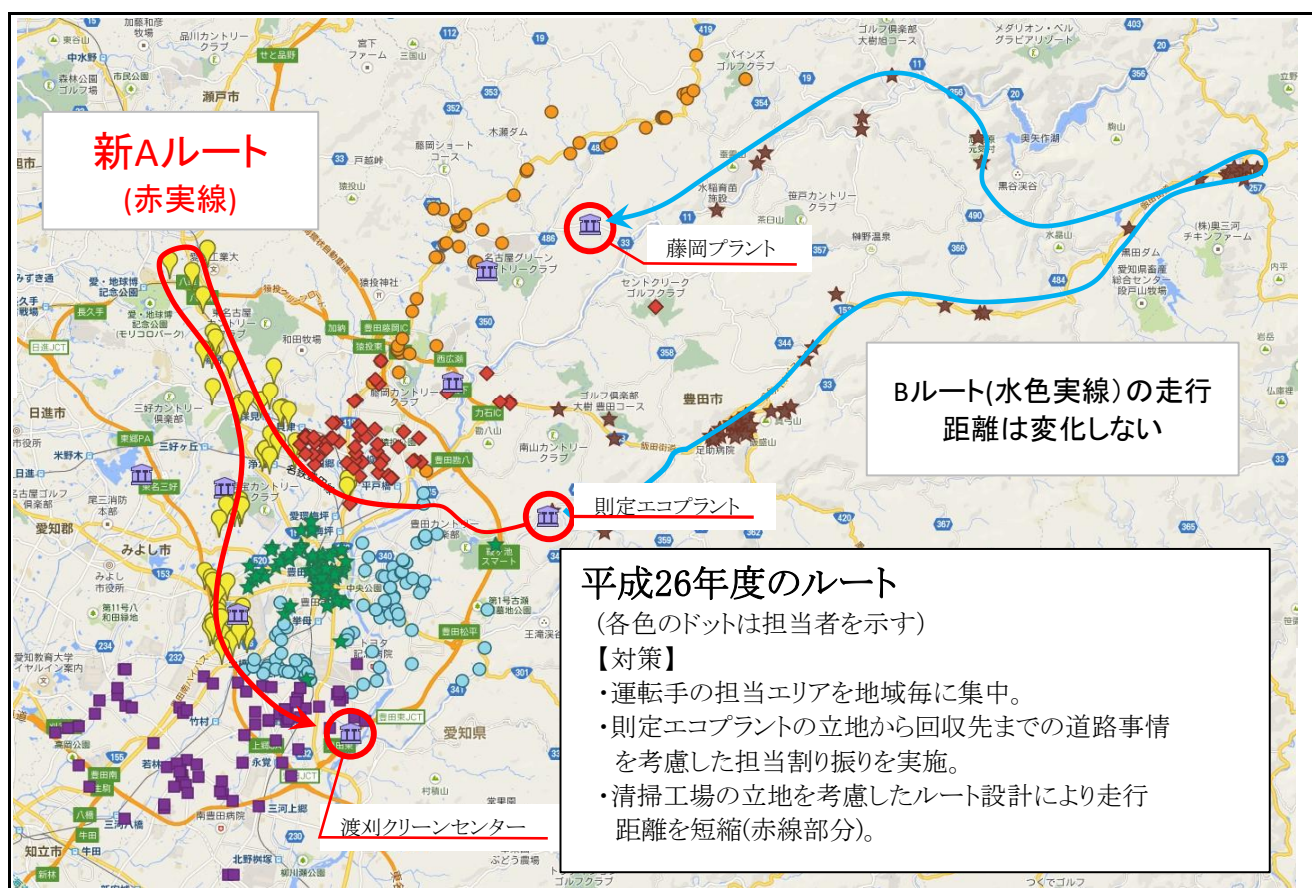
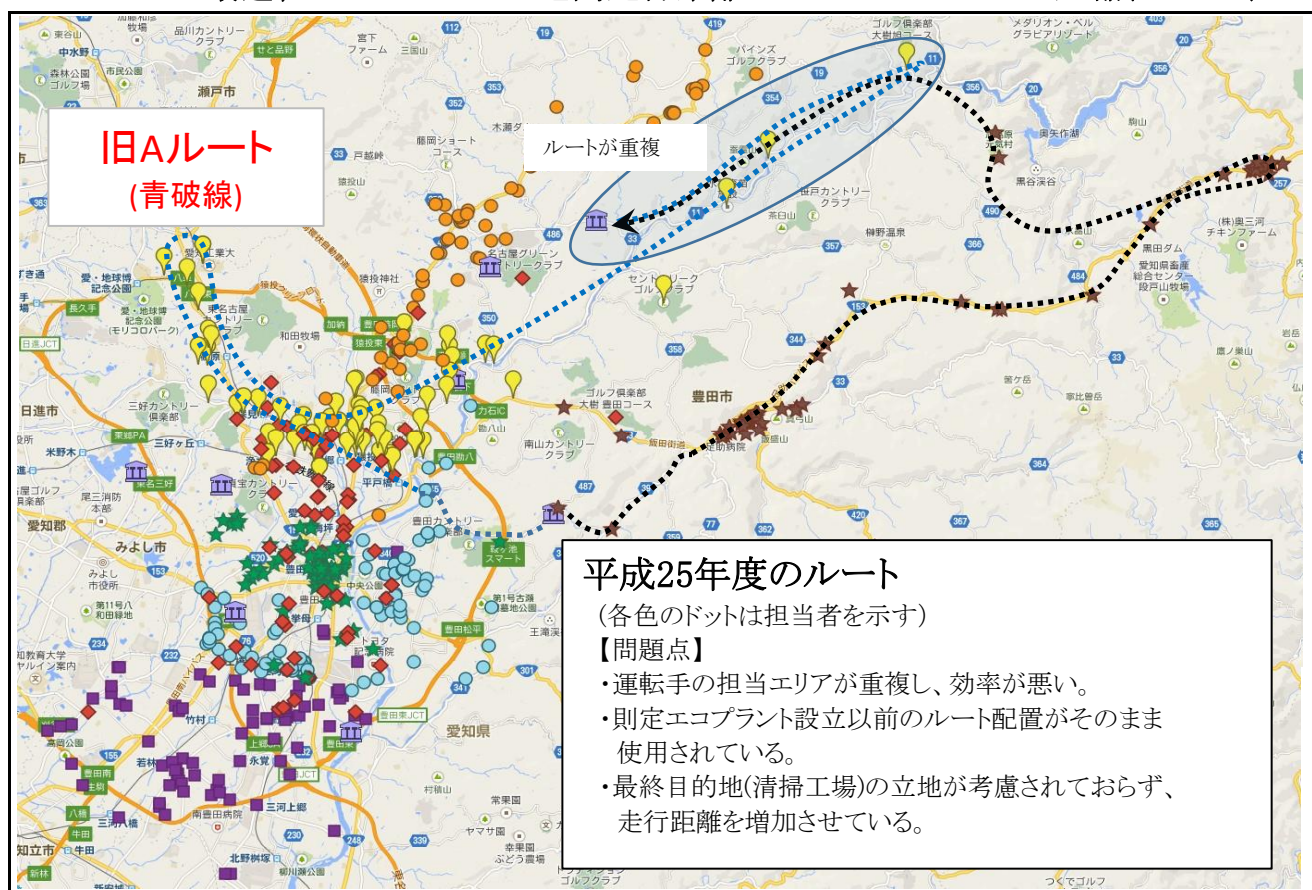
現在AIを使用したルート形成の導入を検討するなど、ICTをより活用し、軽油の使用量の削減に努力している。



一般廃棄物収集運搬ルートの見直し(ICT活用例)

令和6年度も継続して実施中

ルートの最適化によりAルートの週間走行距離を793kmから585kmに短縮(△26.2%)



モリ環境衛生センター株式会社

廃棄物回収作業者の能力向上に基づく環境目標達成プラン

廃棄物の定期回収ルートは、ICTの活用によりエリアごとに担当者を配置することで効率を上げる設計となっている。このため市街地のルートと郊外のルートの作業内容の偏りが発生しやすい欠点を持っている。また、長期間同じ作業者が同じルートを担当すると、緊張感の低下に伴う、作業ミスの発生や、作業時間の増大につながるものが経験的に想定される。このような問題点を防止するためには、全ての作業者が全てのルートを担当出来る体制が理想的であるが、時間的・経済的な制約からそれを実現するのは非常に困難である。

このため、市街地ルートと郊外ルートの担当者2名でペアを作り、担当を交互に交代する体制を構築し、それぞれのルートに対応できる人材の育成を図ることで作業者の能力向上を図る。

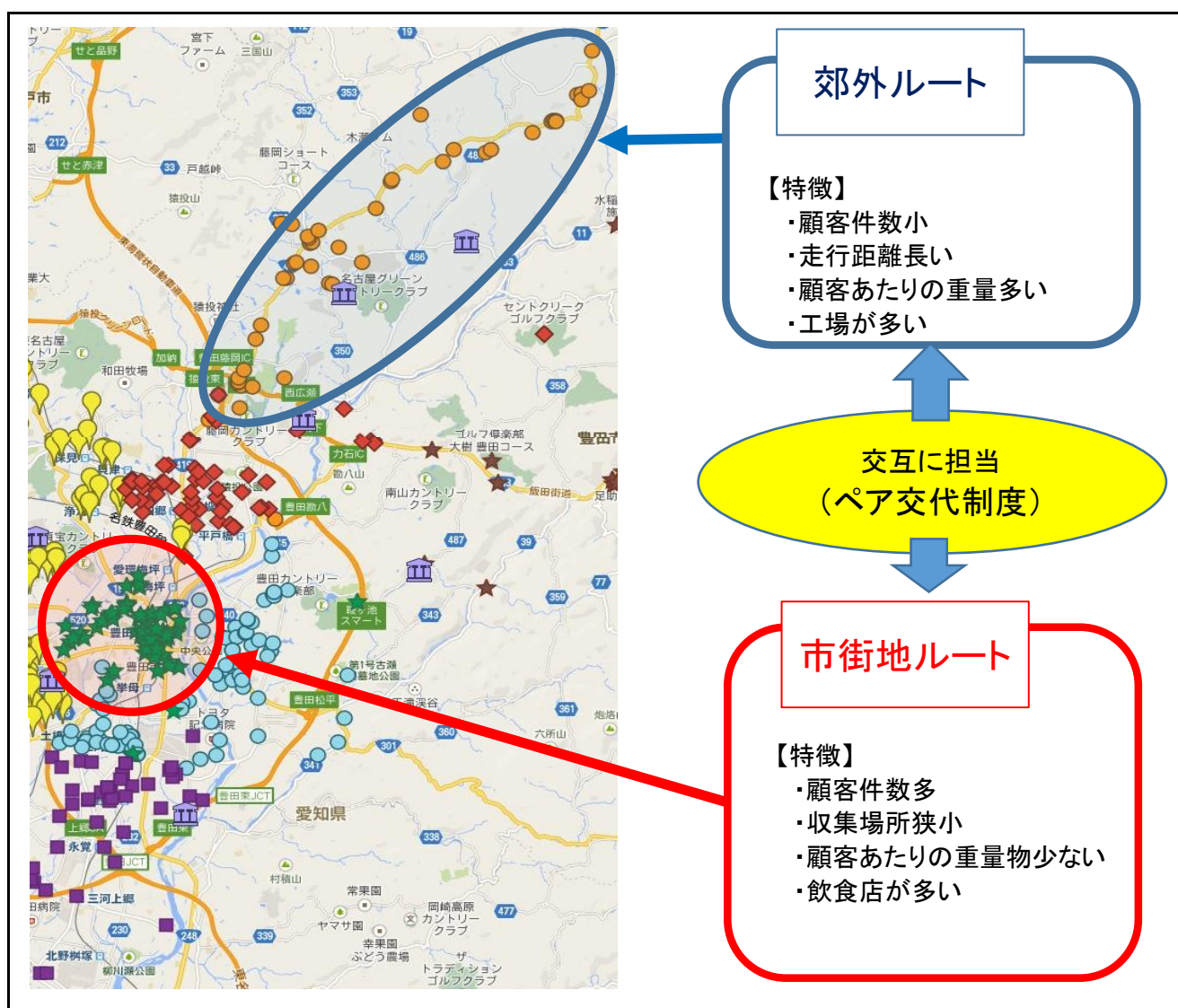
この制度を**ペア交代制度**と言う。

上記の施策に基づき、下記を達成することで、エコアクションの環境目標達成を図る。

- ①一定の緊張感の持続(安全意識の持続・責任感の継続・作業ミスの防止)
- ②情報交換による作業内容の質の向上(最適ルートの探求・時間短縮)

平成30年7月より実業務適用

懸念していた事故の増加も無く、
廃棄物回収作業者の能力向上を実現



モリ環境衛生センター株式会社

二酸化炭素排出量削減施策 太陽光発電・カーボンオフセット電力

再生可能エネルギー(太陽光発電)の効果算定

平成26年1月から本社10kW,エコプラント(中間処理工場)50kWの太陽光発電設備を導入した。

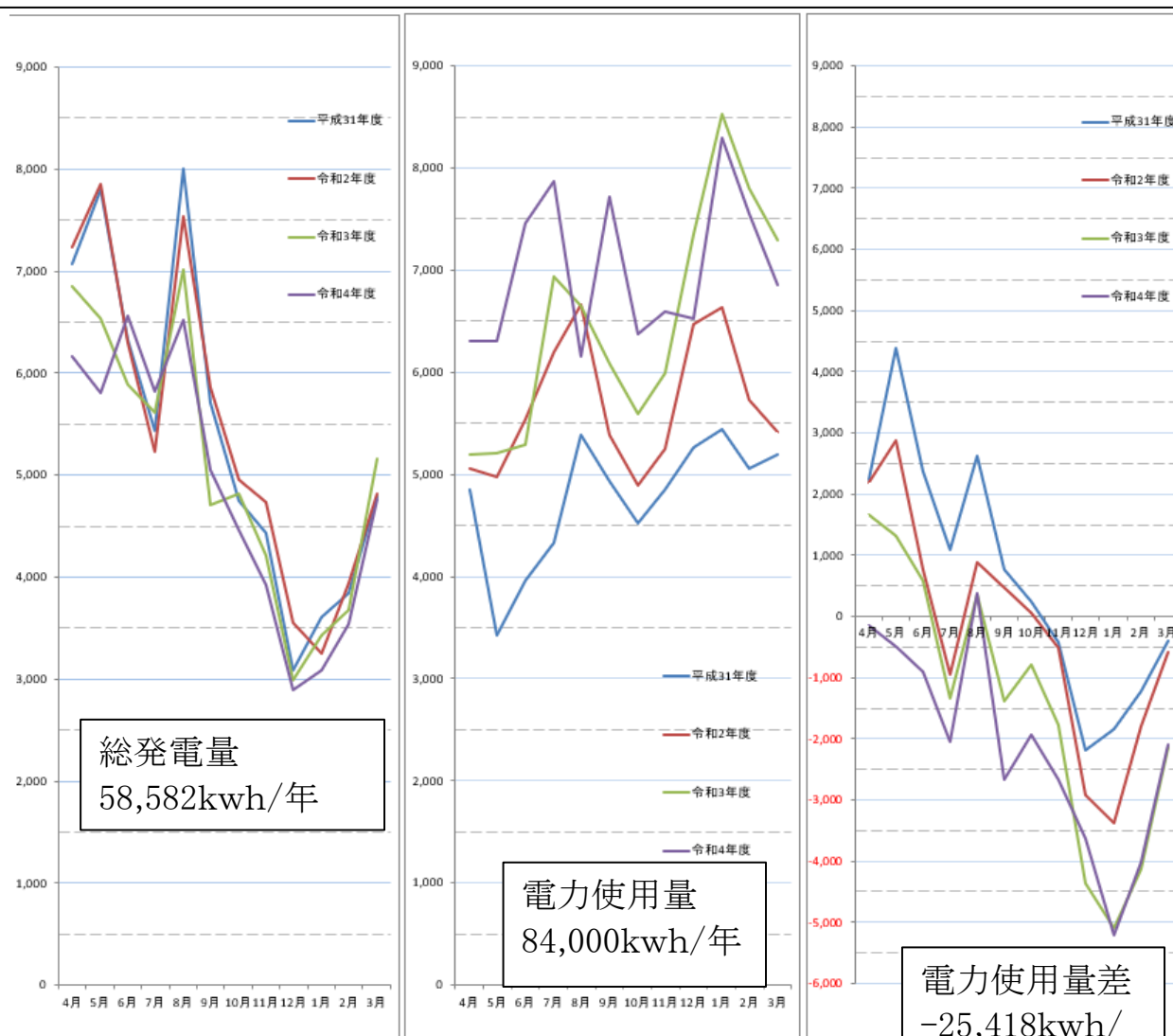
今後継続的に環境への寄与度を集計すると同時に、周囲への環境意識向上啓発活動につなげていく。



発電量・使用量集計 <電力使用量差 -25,418kwh/年>

2軸破砕機の稼働率増化により、使用量が発電量を上回る状況が続いている。太陽光発電によるCO2削減量は

1年間で27,790kg-CO2(杉1,979本分・灯油11,128L)となった。電力購入によるCO2排出量は差し引き12,023kg-CO2(杉859本分・灯油4,828L)となった



モリ環境衛生センター株式会社

7 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

活動評価 ○:活動できた ×:活動できなかった

環境目標	取組場所	取組結果	具体的な取組み	取組結果	活動評価	次年度の取組内容
電力使用量の削減	本社	×	使用時以外の場所は消灯の徹底	地道な啓発により、エコ意識が向上した。	○	継続して実施する。※4
			不要な電化製品のスイッチオフ徹底	パソコン不使用時の電源オフ。	○	継続して実施する。※4
			掲示による節電啓発推進	実施している。	○	継続して実施する。※4
	則定エコプラント	○	太陽光発電施設の設置(環境意識啓発)	実施できている。	○	継続して実施する。
			外出時のエアコンスイッチオフ徹底	実施できている。	○	継続して実施する。
			使用時以外の場所は消灯の徹底	実施できている。	○	継続して実施する。
			掲示による節電啓発推進	実施している。	○	継続して実施する。
軽油使用量の削減	則定エコプラント	○	収集ルートの見直し→走行距離の短縮	ICT(※1)活用。12ページ参照	○	継続して実施する。
			ペア交代制度導入	実施できている。	○	計画実施中。 30年7月より実務適用済。
			タブレット導入	実施できている。	○	計画実施中。 令和1年12月より実務適用済。
			タイヤ空気圧の定期点検	タイヤショップに協力依頼。	○	継続して実施する。
			エコドライブの推進	啓発活動実施中。	○	継続して実施する。
ガソリン使用量の削減	本社	×	タイヤ空気圧の定期点検	タイヤショップに協力依頼。	○	継続して実施する。
			アイドリングストップ励行	啓発活動実施中。	○	継続して実施する。
			エコドライブの推進	啓発活動実施中。	○	継続して実施する。
二酸化炭素排出総量削減	本社	○	ペーパーレス化推進	推進中	○	継続して実施する。※5
	則定エコプラント	○	手袋ボックスの設置	設置済み。	○	継続して実施する。※5
化学物質使用量の削減	本社	○	化学薬品点検表による在庫・仕入の一元管理	毎月実施している。	○	継続して実施する。
			IPM(※2)施行法の勉強会実施	3カ月毎に実施している。	○	継続して実施する。
再資源化率の向上	則定エコプラント	○	再資源化可能な産業廃棄物の受入強化策検討	びん類の有価売却先と契約	○	びん類の有価売却先追加 平成29年4月から実施済
			分別作業の精細実施	実施している。	○	継続して実施する。
			再資源化率の適切な把握	マニフェストによる管理を実施中。	○	継続して実施する。
上水使用量の削減	則定エコプラント	○	洗車手順効率化による水使用量の低減	作業後洗車の徹底により増加し、目標未達	○	継続して実施する。
			蛇口周辺からの漏水確認	毎日実施している。	○	継続して実施する。
	本社	○	蛇口周辺からの漏水確認	毎日実施している。	○	継続して実施する。
菜の花プロジェクト参加	本社	○	ボランティアへの参加	年2回参加している。	○	継続して実施する。
工場周辺美化	則定エコプラント	○	工場周辺の草刈り実施	年2回実施している。	○	継続して実施する。
グリーン購入品の優先購入	本社	○	工具、材料、文具のグリーン調達を行う	カタログから優先的に選択・購入している。	○	継続して実施する。
IPM(※2)施工の実施	本社	○	IPM(※2)施工法の勉強会実施	3カ月毎に実施している。	○	継続して実施する。

※1 Information and Communication Technology 情報通信技術

※2 Integrated Pest Management (総合的有害生物管理)。適切な生息実態調査に基づき、標準的な目標水準を設定し、

事前に薬剤の種類や薬量、処理区域、トラップの併用等について十分検討を行い、施工する手法。結果として薬剤の過剰な使用を抑制できる。

※3 PEST CONTROL部門の略 有害生物防除担当

※4 近年の気象変動によりエアコン使用の抑制が困難な状況から、今回より増加抑制を主眼とした活動としており次年度以降もこれを継続する。

※5 二酸化炭素排出量抑制への取り組みが重要である事を、作業者に啓発するために今後も継続して実施する。



モリ環境衛生センター株式会社

8 環境関連法規等の遵守状況の確認と違反、訴訟等の有無

1. 環境関連法規等の取りまとめと遵守状況

当社に適用される環境関連法規への違反はありません。

なお、関係当局より違反等の指摘は過去3年間ありませんでした。

					日付	作成
					令和6年6月21日	事務局
関連法規	法令内容	遵守・管理状況	担当	関係資料	確認日	評価
環境関連法規の改正確認	環境関連法規に変更・改正がなされていないか定期的に確認する。	豊田市ホームページの確認(5月、9月、1月) 愛知県ホームページの確認(5月、9月、1月)	総務	環境関連法規確認 チェックシート	令和6年 3月4日	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	同法に定める廃棄物処理施設を有している場合、設置許可等の必要な手続きを行っているか。	豊田市 中間処分業取得済 【次回更新 令和10年1月27日】	総務	許可証 許可更新スケジュール	令和6年 3月4日	○
	中間処理後の産業廃棄物が適切に処理されているか。	再中間処理業者に対する現地確認	廃棄物 部門 責任者	現地確認チェックシート 現地確認 1回/年	令和6年 3月4日	○
	廃棄物の収集運搬、処理を業として行っている場合、必要な許可を受けているか。	愛知県 産業廃棄物収集運搬業取得済 【次回更新 令和10年4月24日】 愛知県 特別管理産業廃棄物収集運搬業取得済 【次回更新 令和9年8月23日】更新申請中 豊田市 一般廃棄物収集運搬業取得済 【次回更新 令和7年7月3日】 豊田市 産業廃棄物収集運搬業取得済 【次回更新 令和10年1月27日】 豊田市 特別管理産業廃棄物収集運搬業取得済 【次回更新 令和10年1月27日】 豊田市 中間処分業取得済 【次回更新 令和10年1月27日】	総務	許可証 許可更新スケジュール 二軸破碎機導入 豊田市廃棄物対策課設置許可 【平成29年12月12日】 豊田市環境保全課 粉じん発生施設届出 【平成29年10月9日】	令和6年 6月21日	○
	廃棄物の収集運搬、処理を業として行っている場合、必要な許可を受けているか。	収集運搬時に必要書類を携行	総務	許可証 許可更新スケジュール	令和6年 6月21日	○
	排出事業者との委託契約、マニフェストの適正管理運用	マニフェスト5年間保存	総務	マニフェスト台帳	令和6年 6月21日	○
		委託契約書5年間保存	総務	契約書	令和6年 6月21日	○
		マニフェスト交付状況の報告(毎年6/30まで)	総務	マニフェスト交付状況報告書	令和6年 6月21日	○
	産業廃棄物処理業者の委託者への通知(処理困難通知)制度	法令内容の確認 (平成29年6月14日現在、処理困難状況の発生なし)	廃棄物 部門 責任者		令和6年 3月4日	○
	フロン排出抑制法	第一種特定製品の管理	総務	簡易点検チェックシート	令和6年 3月4日	○
		建設機械エアコンの簡易点検		第一種特定製品の点検・整備記録簿		
家電リサイクル法	指定品目の適正処理、家電リサイクル券購入	搬入先 日通三河運輸㈱岡崎取扱所	総務	家電リサイクル券	令和6年 3月4日	○
建築物衛生法	大規模な建築物の保守や清掃を、適正な頻度で行うために必要な許可を受けているか	愛知県 建築物環境衛生一般管理業 愛知県 建築物ねずみ昆虫等防除業	PC 部門 責任者	許可証	令和6年 3月4日	○
消防法	消防設備の定期点検、報告、届出表示義務	指定可燃物貯蔵・取扱い届出書済	総務	豊田市足助署提出済 表示済	令和6年 3月4日	○
		消火設備の定期点検6か月に1回 (㈱メンテック 委託)	総務	点検結果報告書	令和6年 3月4日	○
浄化槽法	浄化槽の維持管理	法定検査1年に1回 愛知県浄化槽協会 委託	総務	浄化槽法定検査結果書	令和6年 3月4日	○
		保守点検 4か月に1回 浄化槽管理センター㈱	総務	し尿浄化槽保守点検記録票	令和6年 3月4日	○
		浄化槽清掃年1回 (有)ヤハギエコノス 委託	総務	し尿浄化槽清掃報告書	令和6年 3月4日	○
貨物自動車運送事業法	運行管理者、整備管理者の選任	貨物自動車運送事業登録済	総務	運送事業報告書 台帳	令和6年 3月4日	○
労働安全衛生法	・作業者へのSDSの通知義務 ・ラベル表示の提示義務	保管場所、作業車両へのSDSの設置	PC 部門 責任者	化学物質等安全データシート (SDS: Safety Data Sheet)	令和6年 3月4日	○

○:達成 ×:未達



モリ環境衛生センター株式会社

9 代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果

対象期間：2023年4月1日～2024年3月31日		承認/日付	作成/日付	
		代表者 令和6.7.29	環境管理 責任者 令和6.7.21	
環境管理責任者から代表者への見直しに必要な情報		代表者による環境管理責任者への見直しの必要性の指示		
管理責任者の報告及び改善への提案	取組状況の総括と課題報告		変更の必要性の有無(○をつける)	
	【目的・目標の達成状況】 各項目、総量での不達が多い →作業量増加が要因であり問題ない	番	項目	
	【環境関連法規等の遵守状況】 問題なし	1	取組の対象組織・活動の明確化	有 ☒
		2	環境方針の策定	有 ☒
		3	環境への負荷と環境への取組状況の把握及び評価	有 ☒
	【問題点の是正処置及び予防処置の状況】 問題なし	4	環境目標及び実績	有 ☒
		5	環境活動計画の策定	有 ☒
		6	環境関連法規の取りまとめ	有 ☒
	【苦情の受付及び対応状況】 対象期間中の苦情無し。	7	実施体制の構築	有 ☒
		8	教育訓練の実施	有 ☒
		9	環境コミュニケーションの実施	有 ☒
	【緊急事態の発生及び対応状況】 緊急対応マニュアル作成。訓練実施。	10	実施及び運用	有 ☒
		11	環境上の緊急事態への準備及び対応	有 ☒
		12	環境文書及び記録の作成日・承認・識別・保管・管理	有 ☒
	【前回までの代表者の指示事項への対応】 適宜対応している。	13	取組状況の確認並びに問題の是正及び予防	有 ☒
		14	代表者による全体の評価と見直し	有 ☒
		15	環境への負荷自己チェック	有 ☒
	【その他】 特に無し。	16	環境への取組自己チェック	有 ☒
		17	緊急訓練の実施	有 ☒
		18	手順書	有 ☒
		19	環境経営システム	有 ☒
20		環境レポート	有 ☒	
代表者による具体的な指示事項(良し悪しの評価ではなく、良かった理由、悪かった原因を記載し、その対応を指示)				
1. 必須事項				
必須の見直し項目	環境経営方針	変更しない。		
	環境経営目標	実現可能で実施効果が定量的に把握できる目標を、引き続き策定すること。		
	環境経営活動	質的向上を果たすため、先端技術を積極的に取り入れた活動内容とすること。		
	環境経営システム	現状維持とする。		
2. その他の変更の必要性に○をつけた項目				
3. 総合コメント				
本年は新しくDX推進室を設置した。IT技術を活用した新しいルートの形成やより効率的な業務運営をできるように体制を整えていく。 今後もエコアクションの施策は是々非々の姿勢で臨み適切な効果をあげること。				

